

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Plus+days鳳校		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 30日		～ 2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 5人
○従業者評価実施期間	2026年 3月 15日		～ 2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 13人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども本人にとってわかりやすく構造化された環境づくりに努めていること	視覚支援を活用している。 ・ 一日の流れをイラストなどで掲示して個別のスケジュールボードを作成し掲示する。 ・ 活動スペースをパーテーションやマットで区切り、何をする場所かがわかりやすいように工夫している。	児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行の際によりスムーズに環境へ慣れることができるように、放課後等デイサービスで使用しているスケジュールボードとより形式を近づけスモールステップをつける。
2	活動プログラムの充実	子ども達が飽きず楽しく活動ができるように、近日中に似通った活動が重ならないように連携を図る。 大枠のプログラムは計画した上で、個々の担当が計画を練り、それらを職員間で共有する中でさらにブラッシュアップしている。	パートタイマー等で集まったの振り返りの時間が取れない職員に関するフィードバックがしっかりと行えるように、職員間での日々の声掛けや連携を強化する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が限られていること	サービス提供時間の都合や主な支援プログラムの特質上、地域交流の時間がなかなかとれない。	地域の保育園や幼稚園に通いつつ並行してPlus+daysを利用いただいている子どもたちばかりなため、保育園や幼稚園の行事に合わせて事業所の利用日を調整する等して、間接的に子ども一人ひとりの地域交流のための力添えを行う。
2			
3			